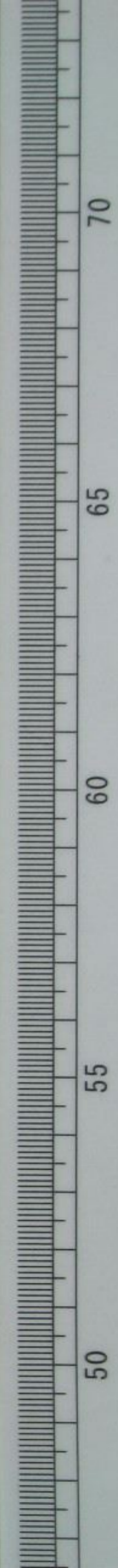




天地の  
乾坤

~~1086~~

逍遙文庫  
文庫6  
98





つらつら序

大席うき冠かん者ものあること。つらつらたまにたますこと。母はは

つらつらべつのこと。つらつらこのころ。つらつらま

つらつらたつらつらおつらつらま

つらつらたつらつらおつらつらま

つらつらたつらつらおつらつらま

つらつらたつらつらおつらつらま

つらつらたつらつらおつらつらま

つらつらたつらつらおつらつらま

つらつらたつらつらおつらつらま

なにか。やうて。いづれ。中庸の人。皆曰。予  
知。驅。而。納。諸。罟。獲。陷阱。之中。而。莫。之。知。碎  
也。擇。字。中。庸。而。不。能。即。月。子。也。と。行。書。  
ふ。若。い。ん。が。し。が。ま。ま。も。今。古。の。い。ん。  
し。の。存。子。忠。信。の。か。り。て。安。富。繁。榮。の  
い。ん。の。ま。ま。の。い。ん。の。ま。ま。の。い。ん。  
あ。ら。う。の。い。ん。の。い。ん。の。い。ん。の。い。ん。  
い。ん。の。い。ん。の。い。ん。の。い。ん。の。い。ん。  
い。ん。の。い。ん。の。い。ん。の。い。ん。の。い。ん。

い。ん。の。い。ん。の。い。ん。の。い。ん。の。い。ん。  
善。う。か。い。人。の。に。義。我。小。女。せ。られ。く。亦。曰。知  
命。家。業。繁。榮。め。る。る。神。佛。を。信。じ。て。ま  
事。し。也。誠。く。や。め。が。た。ら。ふ。事。の。小。女。な。ら。む。  
聖。人。と。人。の。言。を。と。て。い。ん。の。い。ん。の。佛。の。  
依。法。不。依。人。と。法。華。の。法。を。も。つ。て。聖。人。の。信。を  
所。以。て。か。ら。し。め。る。早。く。も。た。れ。ば。や。う。か。ら。ば  
心。得。ま。し。と。い。は。し。め。る。ハ。マ







賣ト羽け事と傳へて。諸客小向ひ。けし先路を  
 と委しくかき。誰しも人の過のなさを能  
 蹄と知りて蹄小掛の過ともいふ。厚さ  
 蹄と知りて蹄小掛の過なる事おれどや。  
 諸君子も何思ふぞ  
 諸客声を揃へて曰。流石畜生の淺き人  
 矣。なほあり。誠小人の爲の靈我こそ。畜  
 生小せしよりともいへん。あくも人小はせし  
 事とみかく肩法を足て。蹄のぐりと振て曰。  
 ひと人と人をおまり自慙ハなるぬ。鐵眉ハ性と

仕弁と知りて。色といふ蹄小掛は奈ハ  
 亡と蹄と知りて。奈ハ。利欲ハ禍を招く蹄  
 と知りて。主蹄小掛は。昔じんわ。外  
 の。鹽魚一れ。釣針小掛は。負などハ。皆  
 是と。貴人として蹄小掛。とて。人ハ。過  
 なるも。れかり。も。人々の。過。蹄ハ。わな。むら。ち  
 過といふ。あも。わ。ず。ゆ。り。といふ。蹄小掛。つて  
 今日とむ。か。う。も。人。も。わ。り。毒。と。知。り  
 蹄小掛。つて。碎。む。ひ。も。わ。り。あ。ら。な。る  
 蹄。一。集。て。切。ハ。日。も。と。や。是。と。就。中

貴も後も。ひかも却も。唯ひて安さハ色の  
蹄は蹄小掛也。國家を亡し。才と失なひ  
むしれりハ。和漢の書小教多々くあり。こまこハ  
まの。庭。箱。目。前。見。聞。ら。何。家。の。人。也。蹄。を  
知り。は。蹄。小。可。也。家。を。失。ひ。才。と。く。ひ。  
各。路。の。絶。り。難。し。指。を。折。小。い。と。ぬ。な。り。歴。こ  
と。と。家。の。主。は。蹄。小。可。け。り。才。と。掛。留。り。  
終。小。令。の。耗。と。水。の。耗。と。病。根。少。て。若。死。せ。り。  
ま。り。人。も。わ。り。は。蹄。小。可。け。り。才。と。正。し。か。り。  
さ。り。由。人。内。徒。の。者。才。を。教。授。小。な。り。いろ。く。の

蹄小可也。教代の家と活却して。親は身小能儀  
を掛書子小愛目又せり。族箱毎々影於。扱ま。と  
息子や子代どものは色の蹄小可也。親小勅氣  
と受。を。欠。落。し。り。果。ハ。合。犯。人。と。あり。の。こ  
も。死。と。り。も。わ。り。親。の。遺。体。小。疢。と。は。け。わ。り。  
も。ぬ。死。と。り。て。親。一。類。の。親。と。穢。し。る。ら。小。知。を  
さ。り。せ。り。も。わ。り。免。小。角。恐。る。處。さ。ハ。色。の。蹄。小。可。也。  
客一人出て曰。某今朝去名。さ。人。相。見。小。出。會。じ。が。  
彼。相。者。予。を。相。し。て。婦。人。の。美。能。小。わ。り。處。さ。  
相。わ。り。慎。し。く。人。と。言。ひ。さ。我。身。て。婦。人。の。能。小



か、新屋さ夢となり。きしお知り方女わつぱ。  
樽とせせ先。ななりなき婦人の災難あそ  
小足とせせ。是おも相者といひささる考のりたし。  
お桐の口を云ふ既小災難あそ。情む慮し  
おとるべし。昔久米の仙人れ通と失ひあらせし。  
とこそお白ひ腰ハをひ。通りと失ひあらせし。  
その洗お女ハ指ぬる。あそいものトやと。祝と白  
ひくえさでハたひ。百夜通ひし。深草れおね  
も。けし先ハちのり。とるささる。後ハ患の奴  
と成。そいささる。前と情と。そいささる。聞さる

前とささる。先年。或る各の相者なる人。  
お相小のり。しりわり。相者元日未明し。  
小舟。社小信んとて。千中通りとより。おね。  
むふらり。還し。来れ人わり。提灯小すし。  
えふ。貧窮患難。死相者。死さ。い成ゆ  
と。同る。なく。別さ。け人の相行やなく。  
お小掛。き。き。のあり。とやせんと。又千中  
通りと下向と。東。既小。的の妻。空の景色  
も長閑なる人。品めて。向より。あま。人。温  
潤。て。君子の相あり。よくく。る。彼未

小邊一死相の人なり。須臾小相のかりり。不  
不心儀さふ。いふ人かてま。海をぞ。嚮小未  
明小邊一と。困窮の相も。死相す。ふ  
強も。今ま。君の相と。福徳元海。  
長壽ま。退を。是我未熟の見過。り  
所なり。但し君神術も。新変せ。り  
ひり。不審と。時を。彼人。と。お。  
嗚呼。妙なり。其肺肝を。り。り。  
我中何某といふ朋友あり。名ハ輝。そ  
と。さ。彼舊友。七年已前。火災。り

會貧窮小か。と。小志のいど。我杖を  
分て。去秋。水難。小わ。困窮小  
か。彼朋友の信。小わ。予。災  
難を。小の。利。小。利  
と。小。と。被。是の根骨。随小  
透。かの朋友と。刺殺。我も。に。死。存。意  
九寸。分。と。懐。かの。さ。て。り。途。申。小。い  
内。小。わ。色。外。小。影。て。困窮の相。一。さん  
や。死相。ま。あ。り。き。さん。や。討。も。さ。か。く。こ。して。  
未明小彼何某。小。至。る。志の。び。入。く。親。小。



とも。飲食の秋。男女の愁。ほしひ侍小坊も。  
身と失くす。近かん。可憐可憐。かゝる人相  
の跡小掛。身と持替ひ。ひの金。ひ  
又一人出て。は。奈々の跡小掛。ぬ。用。公。田。考。一  
あり。金。一。翁の。日。或。而。の。高。人。手。代。小。者。三  
十人。余りも。石。を。よ。家。の。さ。なる。人。毎。朝。煙。草  
盆。に。掃。除。し。け。り。と。侍。予。を。さ。ふ。同。く。曰。手。ハ。手  
の。役。是。ハ。足。の。役。目。ハ。目。の。やく。耳。ハ。耳。の。やく。  
鼻。ハ。鼻。の。やく。舌。ハ。舌。の。やく。一。身。お。さ。は。は。れ。  
國。と。治。先。の。ま。も。と。ま。く。の。役。人。を。一。國

治。於。所。家。と。も。ま。通。り。さ。人。ハ。さ。人。の。やく。  
手。代。ハ。手。代。の。役。小。者。ハ。小。者。女。ハ。女。と。ま。く。の  
役。と。治。と。あ。て。一。家。治。於。志。る。ふ。さ。え。丁。推  
小。と。治。役。と。治。と。り。毎。朝。た。ご。金。の。さ。う。ど  
あり。さ。う。云。風。小。侍。人。聞。汝。さ。而。滑。り。て。の  
事。の。か。ま。も。人。の。子。なり。と。さ。ひ。小。者。の。子。と。い。さ  
る。の。の。侍。ハ。家。の。侍。と。たり。い。美。用。は。先  
お。て。子。侍。り。又。ハ。痛。症。と。い。ふ。痛。ひ。な。り。行。も  
せ。よ。卵。と。破。糸。何。ぞ。横。懸。と。用。人。や。さ。糸。而  
して。曰。合。く。被。お。が。号。と。い。さ。さ。り。掃。除。し。て

の。り。び。り。と。い。ふ。

乙



おてもなす。まして家の掃子と思ひ。子傳さぬ  
こも掃子なす。まげの當世利きの病症と  
つ洗のり久し。去たぐ。うし。雨溜のおきも  
ゆ。ど。も。前の先祖の母波の由文の山小道さ  
不。童子の以より系一宅也。たむこ堂の掃除  
仕わけする。お上なる。先年あるの老人を  
世る。吐し。ふ。こ。こ。も。せ。て。家系小異見。一。く。男。一  
こ。え。一。也。せめて先祖の辛若とも忘さぬ  
か。ハ。本。考。の。呪。も。なる。屋。と。し。も。お。り。ひ。身。の  
た。こ。堂。毎。朝。か。さ。ど。掃。除。し。と。お。の。日

先祖の墓と去さぬ。奢の障小掛の用ん  
た。こ。堂。の。掃。除。面。白。し。お。老人のたを  
か。何。ま。人。の。日。老人の回念人。本より不調法  
我。お。ま。と。取。お。潤。法。ま。ま。こ。一。不。掛。馬。と。び。ま  
掃子なす。は。ま。孫。い。と。さん。彼。老人。居。位。いと  
直。し。て。曰。下。の。は。う。は。山。さ。あ。小。中。も。道。以  
ゆ。恵。介。な。が。る。天下を平五穀成就。民安全  
と。ハ。今。は。時。何。ひ。と。う。こ。して。お。ま。あ。さ。世。の中。  
竟。舞。の。代。と。い。ふ。も。か。か。ど。目。出。度。所。障。溢。成  
お。代。い。る。ま。し。い。ま。ん。く。の。け。ご。せ。や。我。お。小。ま。り

ままで。親も夫婦一雨小病く。なんの言をい  
のきれ字もなく。安楽世奥小善の事。是皆  
泰平の所産ありぞや。余ア廣たなる恩澤ハ  
いとく。お経ふこゝぬものトヤ。嗚呼。左平あり  
人公。又いごせをハ知りまひ。何玉の在。而と  
同一事。夏の以。早はげハ。百姓の辛苦。辛苦  
いや。と。京の荒。おとち。い。と。ん。せ。い。親も子  
も。夫も。婦も。嫁も。娘も。夜。昼の。こ。う。ら。な。く。余  
限。を。根。か。さ。る。を。い。い。桶。の。新。骨。車。の。枯。擗。れ。  
す。つ。り。ん。の。と。ま。ま。お。か。か。り。て。水。の。世。活。わ。い。

おても。ゆ。ん。す。ま。い。六。折。角。こ。ま。ま。で。幸。苦。し。と。  
稲も。綿も。粟も。秬も。大豆も。小豆も。い。い。て  
のける。と。よ。二。三。日。早。は。げ。ハ。た。く。い。っ。ほ。と  
な。し。ひ。て。も。言。子。川。登。さ。水。も。ろ。人。の。力。も  
弱。ぬ。と。き。神。く。諸。寺。に。祈。念。祈。禱。雪。の。奇  
特。と。て。俄。小。雲。に。ま。る。が。出。来。大。雨。頻。小。雨。も  
お。せ。バ。を。ね。ひ。難。い。な。く。蕪。と。り。て。く。ふ。て。今  
ま。で。五。は。る。水。の。喧。嘩。も。さ。い。と。り。と。な。が。ま。て  
仕。舞。所。神。酒。と。れ。の。湯。立。の。出。れ。ま。い。つ。の  
は。陰。の。と。村。に。れ。雨。は。げ。い。げ。や。う。か。早。年。を。

つらつら

二

八年目。十年目。度ぐはなるもや常の  
と一ハ時小晴し。雨も稀なる。幸苦も数  
少。五穀も出まら。け年ハ移る。候が極さ苦なりき  
ども。是ぐかの大病人の如復して。不復の候ハ  
ハすもども。病ぬ候しとく候しする人をさぐご  
とく。雲して雨の降をばあぐさぐさども。候より  
やどより降五とハ。候れまをわりがさぐさぬ。この  
所候せれあぐさぐさ。さかどまをわぐさぐさぬ  
も。此世の悲しと知らざらゆ人なり。さつとも  
天恩國恩ハ。廣をなる事なる。報じやうハ

新編 徳川実録 卷之七

かけきども。棄て天の冥加とわらひ。候は及と  
かくちり。正妻小家業と候とめ。實一小老成  
候し。困窮なる人わらば。お徳の賜とせしよ。  
そえが先祖のつらきハ。唾壺の掃除。他立て。  
けやうなるが。候。掛屋をまを備え。内福小  
あつさども。一は菜好とせ。若もの小難癖  
云は。大老と候し。と儉約とまをり。弱き人  
かハお徳の。施しとして通し。候。候。親ハ  
若とする子ハ。歩とまをり。そ子ハを合するとや。  
いづは世なる小ま。候。や。どこの先祖も

新編 徳川実録 卷之七







まゝく捲研の風味なるを。海小後ハ後どけ  
かりりと。一トグ。是もまた。は。日。別。て。ハ。よ。き。成。  
喫。ん。ど。わ。く。も。な。く。唯。百。八。十。文。の。煙。草。の。じ。  
こ。も。ま。ま。の。百。八。十。文。を。味。ひ。ん。ふ。を。真。  
に。申。わ。る。と。申。く。一。服。も。そ。う。が。一。の。こ。の。と。こ。  
奈。れ。別。や。と。こ。の。と。こ。の。と。こ。の。と。こ。の。と。こ。  
の。産。一。尻。を。長。ぬ。是。等。ハ。進。以。は。細。な。り。の。か。  
ま。ど。も。屏。の。下。秋。の。下。秋。は。先。き。終。の。  
重。索。す。人。不。至。て。ハ。舟。な。く。て。ハ。波。ま。ぬ。幼。少。  
の。と。こ。教。ど。して。愚。癖。の。附。り。子。ハ。未。小。至。く。

親の事も余計そのなるを。是。お。も。け。じ。知。り。  
わ。く。一。さ。り。親。の。過。なり。古。の。人。ハ。い。ま。さ。人。の。  
父。の。道。と。知。ど。して。ハ。子。の。み。ま。り。と。知。し。と。  
なり。今。の。人。ハ。い。ま。さ。人。の。子。の。道。と。知。ど。  
して。子。の。み。ま。り。と。知。ど。して。去。の。識。グ。笑。ひ。  
あり。い。ま。さ。父。母。小。事。の。道。も。知。り。て。書。き。子。と。お。ハ。  
は。ま。ぬ。ぬ。の。と。や。必。書。子。と。い。の。蹄。小。掛。て。孝。の。  
お。ろ。く。ぬ。用。ん。な。り。是。下。達。ハ。男。上。も。あ。り。く。  
肉。後。の。危。も。教。多。わ。れ。バ。自。別。子。是。の。孝。の。ハ。  
勤。ず。と。も。不。自。由。の。た。り。と。ま。い。唯。親。の。

嫌ひなるものぞとせむ親水の好小伊達ののこを  
父母の好きしひハ。面くのお公小同多のめしふ  
よく成存知。知りしは。蹄小掛をのみを  
す。一人出く曰。は。万國中の奮友とせし。は。方  
山の吐一の肉を客人の物かふる。去秋草枯不  
誘引せし。は。経五里余り。あり。一。事  
あり。を。帰。於。その。山。路。あり。也。さ。倒。一人。小。舎。ぬ。  
樵。ま。と。つ。て。腰。小。腰。と。さ。し。そ。か。ら。く。小。行。も  
又。也。秋。の。日。の。雪。迫。く。公。せ。げ。ども。又。も。小。思。ひ。ど。  
と。小。病。も。て。も。お。こ。り。し。人。の。腰。痛。た。ど。せ。む。

持合のくもを。集。り。ま。ぐ。支。え。と。身。邊。小。さ。る。る。  
け。さ。バ。形。と。も。さ。げ。一。礼。して。云。々。や。ら。ん。ら。ん。  
持病もいりぞ。腹も痛まじ。念。ぶ。と。猿。小。さ。る。も。  
鐵。小。付。く。て。必。け。と。け。云。と。聞。て。回。付。皆。力。以  
得。幸。無。苗。小。孫。を。と。る。切。飯。早。ど。或。ハ。黄。深  
か。ど。こ。り。集。小。盆。小。感。を。と。興。へ。け。さ。バ。押。戴。く  
さも旨さ。や。味。も。余。色。申。く。切。合。ぐ。し。ひ。お。て。ハ  
ど。この。湯。も。足。ま。ど。く。又。く。り。小。さ。ハ。何。す  
して。ま。分。む。り。冷。孩。し。を。お。余。せ。と。も。小  
小包。と。戴。て。懐。中。す。我。お。さ。と。知。し。され。バ。

おのり

不審とせむ。終なる小舎れを飯皆喫し  
とも争う。飢と凌ぐ不足人。志る余亦余を  
事こそゆふ場。いふ成ゆと問けむ。吾て曰  
我家にゆを至く貧し。かれば貧食ハ稀  
あり事とぞ。お暇小侯と命。貧しとさ男の  
悲し。さ。いとこの母と持けむ。かやうなる舎  
おハ進るる。かお及ぶ。知し。さ。母一の  
去。孝ふ致し。と。そ。く。小れ。ゆ。そ。早ふ  
行と負。と。ざ。と。ふ。列。き。り。同。休。皆。感。ん。し。  
鬼の目も涙とや。目と櫻く。帯。り。つ。き。坂

道に在れ人不出。命あり。と。り。も。か。り。る。に。年  
恰合。か。や。う。く。の。人。な。る。ん。是。こ。ゆ。う。田。村。の  
歳。八。と。そ。か。く。も。さ。孝。子。な。る。け。仁。な。り  
小百姓。ふ。て。お。甚。貧。し。け。こ。も。人。の。お。か。小  
ち。り。人。あり。田。も。隣。村。れ。る。使。な。る。人。も  
孝。行。ち。り。と。感。し。田。比。山。畑。較。多。附。添。娘。と  
書。き。さ。し。媒。と。ひ。く。と。い。は。さ。る。小。園。禱。て。兼  
に。せ。る。友。を。と。り。て。肉。を。と。問。小。孝。子。の。曰  
我家。か。り。貧。し。と。さ。バ。貧。し。と。さ。ハ。常。あり。  
今。も。使。な。る。人。の。娘。と。嫁。ふ。と。ら。の。い。な。バ。

つらつらつら



後月菓子あんど。家もくと候して。ありて  
おねは。同付ハ。みか。富。あ。わ。て。お。よ。ろ。と。孝。ん。な。れ  
事ハ。我。ホ。孝。子。く。知。入。一。人。く。た。り。り。も。孝。公。保。キ  
更。人。の。孝。子。か。ら。と。又。て。ハ。感。於。る。も。ま。さ。と。保。し。と。  
其。の。感。涙。流。せ。し。が。お。よ。ろ。遠。西。の。通。者。と。又。て。  
三十。余。の。あり。男。通。り。の。了。孝。子。小。對。し。國。而。を。得  
同。し。矢。立。と。お。し。て。我。必。不。と。半。て。後。し。か。あ。り。ず  
た。つ。子。あ。り。し。と。契。約。し。通。申。解。の。を。得。お。た。り  
解。さ。る。も。妻。し。く。教。へ。ぬ。自。身。に。細。と。事。を。解。  
孝。子。の。脊。中。れ。事。小。孫。付。徒。の。ご。と。く。支。さ。し。と。也。

老母の足お程よふ臨せ。あしはけけハ血が下り。かあ  
ど腫のあつものなりと。慈ふ女抱し。ぬき。ま。度。ハ  
長し。我。ホ。も。去。年。老。父。と。負。て。西。玉。と。白。り。が。  
慈。母。と。一。ヶ。取。り。残。し。来。妻。ハ。ま。の。慈。母。信。を。と。  
親。子。楽。し。と。書。せ。し。小。無。事。の。風。お。ま。さ。と。ど。も。秋  
か。は。ゆ。る。を。ひ。し。な。り。と。夫。也。人。お。け。で。く。位。牌。を  
負。て。慈。母。の。遺。体。い。せ。せ。し。な。り。去。年。に。妻。の。乃  
中。ハ。樂。し。あり。て。力。と。あ。り。が。け。様。ハ。楽。と。あ。く。て  
力。も。抜。さ。る。ぬ。く。も。元。ハ。長。し。と。な。り。と。又。上  
足。に。り。し。長。し。ぬ。け。人。ハ。唯。人。の。親。の。存。命。成

つりて... 二下

と云て人の子れ孝けけるをば。そのを感んらる  
体た。我ことと思ふも。我おどる弱味嗜ハ  
人のかれ強さと云てハ。弟の及ぶるを云てハ。の  
力小感んを云ども。力の強さ人の目か。弟  
しぬるを云と。感んせざるごとくおてけ人至孝  
あるが。人の孝けけると云ても。そのを感んら  
ぬと云と。同伴の感んも。そしく弱味嗜の  
伸るを云ん。孫田。汝の同伴。誰にも云ふも。前  
より。弟小孝を云と。誰にも云ふも。前  
誰あてもあき。親はが預れかると云と。思ふは。

五牧府三牧と云れ通。早速は彼先  
さる。去たを云は孝けハ弟作お意。誰も  
仁し孝けあり。そしく。弟上。かとうて。その毎  
不ゆ念小感んらると云も。早速。肩つめて。誰  
は。和合。おと。ぬ。人も。弟上。そしく。弟ハ。親子  
夫婦。睦し。て。弟上。かとうて。親子。夫婦。すれ  
出来てハ。初のやう。ふた。とも。わ。家。が。平。け。終  
り。ち。学。問。の。ち。り。あり。弟。の。弱。味。嗜。ハ。成  
る。か。或。先。せ。れ。作。ら。す。各。國。小。た。り。とも

つづいて

下







十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十



久くかすの知事なるものあり。然れども不学  
又盲。眞海なるものありて知らず。知らざるを知ら  
ざるとして。知事なるものと。知事なる通らふいふ而已  
なる。去れども。知事なるものとして。天窓の一口に  
齒のひき。足下のとく。知事なるものとして。天窓  
か。唾吐する人。数多ありん。その人の中にも。知事  
なるものと。知事なる通らふ。好らざる人も亦数多。  
吾の吾。悪の悪。君の君。臣の臣。親の親。子の子。仁の  
仁。不仁の不仁。義の義。不義の不義。長短。輕重。或  
は。知事なるものあり。その知事なる事。を。

知事なる通らふ。好らざる。云々のたゞも。世を  
見る。親と親。不せぬもわり。ををを。と。つらぬも  
わり。或は不義と知り。は。不義と好らひ。不仁と知  
ら。不仁なるものあり。或は重さ。か。を。輕ら  
ら。輕い方と重し。長と短。短く云。な  
り。短きを長と。長を短と。おのまが。掃も小  
はせて。悪人も。善人も。毀れ。か。やうなる  
人。知り。知れ。て。知らざる人。た。ひ。知らんと  
の。ま。ま。公の。同。い。を。善人。も。疑。し。と  
事。わ。ら。善。悪。義。不義。を。不。同。



あゝみづのりや  
 掛りまゝあゝ

*[Faint, mostly illegible handwritten text in cursive style]*

あゝみづのりや

下

あゝ一人あゝ曰。拙者舊里小。今山椒をまゝとて  
 なふ人小幸さ目と見え。あのみ一人のふりまゝ  
 幸報と集る。抗面ハ舊の仇よまゝとまどく。各さ  
 事ハ一文の残りも涙をあげて。拙者子れ親父も。  
 朝も喚と透るまゝ。肉後のまゝと賣つ人バ。  
 苦も小懐りひて。一季もまれなふ人。あゝ  
 けるまゝのなるとり。人嚙馬小もおくらとや。まゝ  
 中不幸抱強ふ。幸とまゝひて。勤れ僕あゝ。我  
 僕小回て曰。母のまゝ人情なく。人あゝの苛

あゝみづのりや

下



かたしとくども。文小との験がらうし。たを  
彼僕あつの云々いひふ。我わが愛い申まれ。歡かん樂らくと。おこりして。  
陳ちん々ん々ん。いつとなく。公こう和わしぎ。皇こうの利り歎たん。うそく  
なま。バ。夜よの苦くし。わし。止やぬと。承うけ取と。是こも  
利り歎たんの蹄かひ。わし。身みと苦くし。む。人ひととい。らん。ん。  
翁おきな曰い。利り歎たん。此こ蹄かひ。人ひとの利り。事こと。以もて  
知しりて。利りの換かへ。事ことと。知しり。ど。を。ま。い。ま。治ちの  
殖しく。事ことと。知しりて。乃すなはち。瘦やせ。事ことと。知しり。げ。さ。ま。  
小利せうり大換だいかん。か。し。ど。や。  
ま。と。一ひと人ひと。切きり。曰い。或ある。雨あめの婦むすめ人ひと。回まわり。三さん人にん。浴よく湯とうの

觀くわん音いんと。頌じゆ禮らい。日ひ著しやくて。帰かへる。路ぢの。か。り。程ほど。  
石いしの。あ。り。と。幸さいひ。と。し。の。婦ふ人にん。整ととく。腰こし。け。連れ  
の。運うと。と。待まち合あひ。と。着き。柴しば。と。も。通とほり。可かし。石いし。小せう。腰こし  
ひ。け。さ。と。と。て。あ。い。と。笑わらひ。や。勿な。祈いのち。や。ま。い。又また。験けん  
あ。と。あ。れ。比ひ。系けい。と。ち。と。い。と。足あし。が。障さやり。て。も。瘡かさ  
病びやう。り。氣き。遠とほ。を。腰こし。ひ。け。と。背せ。に。い。ま。と。と。ぬ。が。大おほ。体てい。で。ハ  
何なに。と。い。ふ。と。は。く。小せう。腰こし。に。回まわり。二ふた人にん。も。戻もどり。掛かり。  
こ。も。小せう。腰こし。を。教しゆて。公こうの。内うち。に。お。託たく。と。や。連れ。さ。て  
帰かへり。石いし。小せう。腰こし。に。婦ふ人にん。俄ふと。小せう。大おほ。腰こし。に。け。り。と。  
知しり。ど。や。ま。い。六む。道どうの。往う。化け。を。り。元もと。生なま。と。お。し。り。芥か。

ついでに...

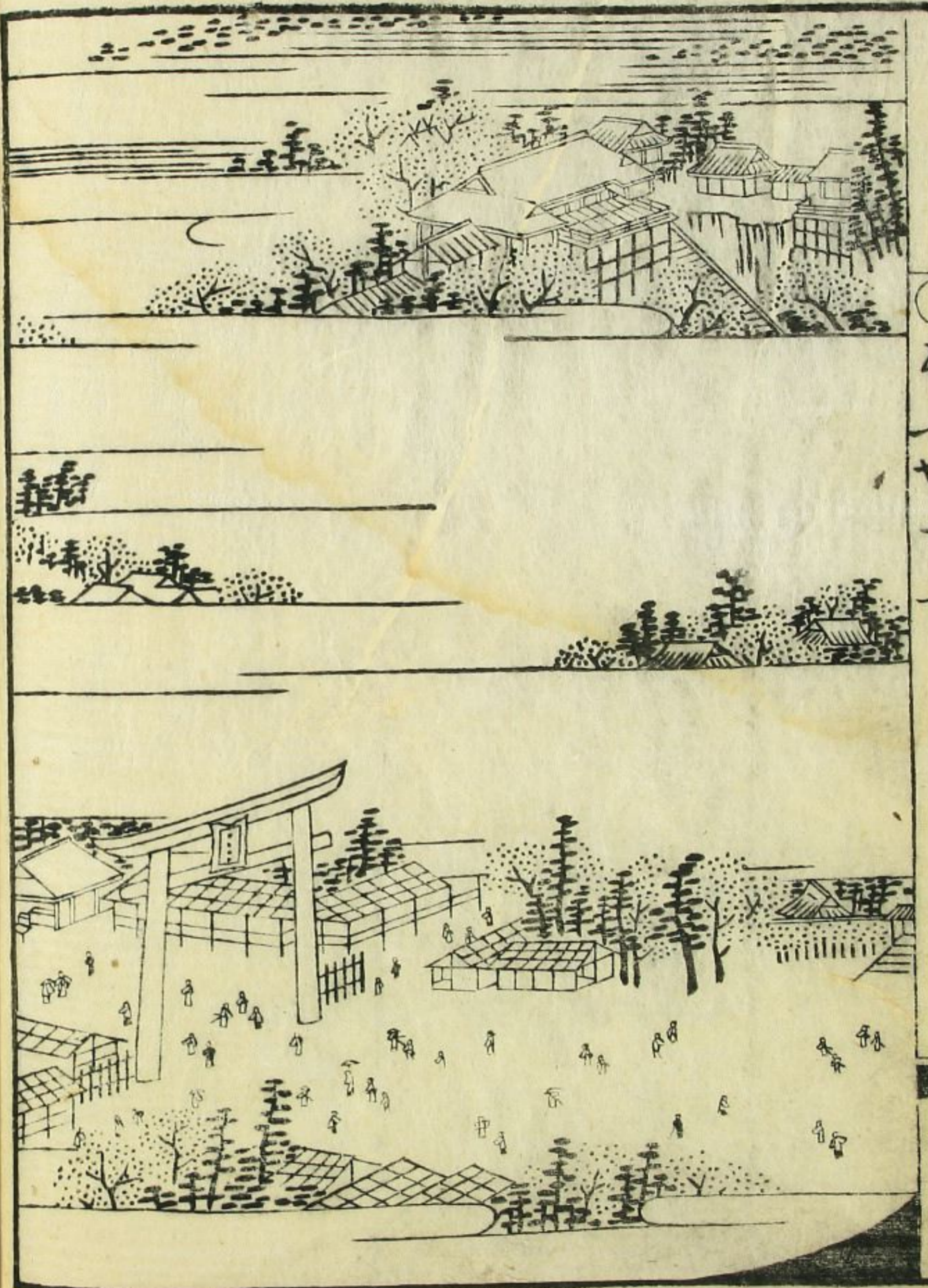
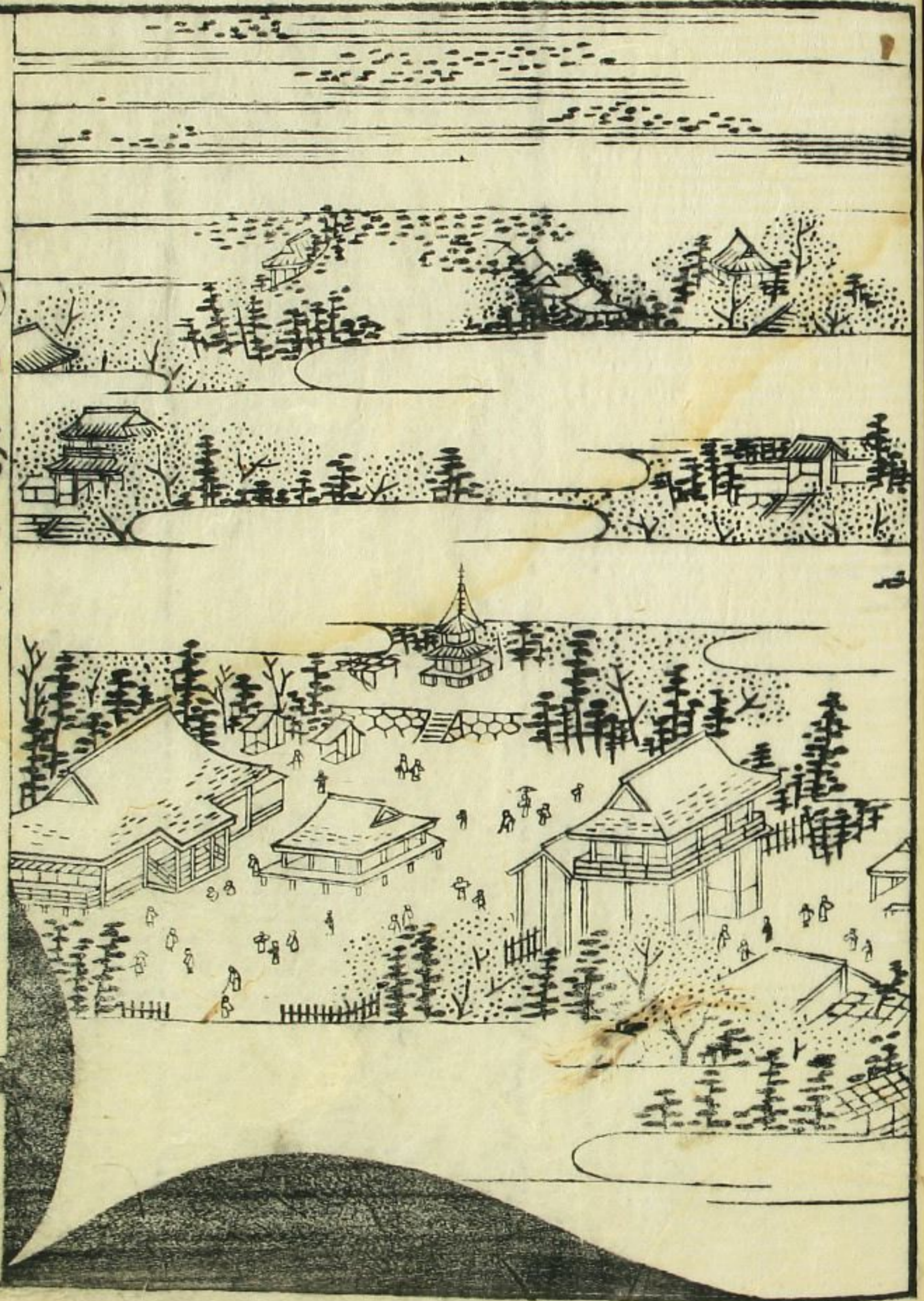
かゝるに。我骨のわけてさきども。汝が罪咎を責け  
世少の命と縮。未來ハ地獄の苦患とつけ。浮世  
さふふまじいほど。あつ不便や。堪がらぬ。虚言と  
極の正作なり。隣近急寄集。同好と先じて。  
種々れ供おとらと揃へ。地獄ハ託ふさんや。  
彼亦不坊てえれば。何でもある。唯の石なり。塔々  
興さる。お小帯。かの婦人と竹輿。おのせ。まゝ。彼  
前小連坊て。地獄ハわらぬ。石なり。を。さ。く。く。と  
又せられた。だらまら。糞さめ。正れ。お。わ。ら。ぬ。是。お。ハ  
お。ま。と。り。の。蹄。お。掛。て。ま。ま。し。い。お。迷。ひ。と。卒。る。人。

公の口。おれ類い。世ふまゝ。多。或書生。予り  
か。ら。り。り。あ。り。を。書。生。の。舊。里。何。来。と。り。る  
人。公。經。と。信。仰。して。朝。暮。の。け。と。め。懈。と。ど。或。ハ  
いと。と。様。夜。通。な。ど。お。ハ。高。声。お。讀。誦。して。お。の  
守。護。と。せ。と。ら。と。或。日。子。負。の。神。徳。里。一。出。て。  
人。々。怖。強。し。り。あ。り。彼。何。来。も。通。を。掛。り。く。さ  
む。し。お。才。と。隠。し。か。ぐ。る。き。う。く。ふ。公。經。と。し。て。垢  
き。り。子。負。猪。の。癖。と。して。声。と。目。當。ふ。ま。あ。る。の  
あ。て。ま。一。文。字。お。地。ま。あ。り。お。お。か。け。て。う。ら。へ。り。と。  
跡。も。え。ど。地。子。坊。家。こ。と。や。あ。ひ。う。ん。一。調。子



かきりつけ。マカハンニヤ。ハラニタと。声のひびく  
よもたれ。バ。坊。子。も。負。緒。矢。と。射。は。ぶ。く  
川。返。し。さんく。小。城。た。れ。バ。城。敷。子。前。部。守。と。て。  
声。も。お。ど。倒。し。伏。す。死。す。出。な。り。な。り。と。人。く  
又。解。戸。板。小。室。と。く。取。り。し。と。あ。り。と。其。難。と。除  
せ。り。あ。る。る。る。の。さ。か。公。経。と。用。ひ。や。う。あ。り。の  
下。手。か。お。醫。者。の。人。参。と。用。ひ。さ。却。て  
害。と。折。小。同。し。令。報。備。れ。る。小。と。て。令。教。多。勝。小。附  
公。知。し。ぬ。川。と。い。へ。り。と。も。櫻。の。か。の。あ。り。小。は。ん。で  
死。ん。だ。り。人。も。ま。り。や。う。あ。り。と。思。て。水。い

溺。し。ま。い。と。利。公。小。水。比。社。若。し。と。水。小。溺。と。て。  
死。ん。だ。り。人。も。あ。り。と。聞。是。お。ま。り。水。自。然。降。と。地  
あ。り。て。せ。の。跡。小。掛。し。人。死  
ま。り。一。人。お。て。曰。我。が。督。と。背。小。讓。也。道。世。の。名。  
あ。ま。り。と。も。君。や。ま。の。某。子。坊。末。の。経。受。来。り。  
は。考。め。れ。ぬ。一。公。羽。の。曰。好。名。之。人。能。讓。千。乘  
之。國。苟。非。其。人。算。食。豆。羹。見。於。色。是。ハ。是。  
孟子。の。語。な。り。下。し。あ。て。も。名。の。為。小。ハ。家。督。と。も  
讓。也。家。督。と。も。讓。り。人。あ。り。根。が。名。同。と。い。の。化。物  
亦。も。バ。飯。深。の。り。あ。り。も。尾。が。あ。り。始。終。子。難。小。ハ。り



ぬまのどやまの道世れ意結ぬ何定て海さ  
可漕わん。作のおとく可漕かさるふらりて  
は妻の死の以東山れ花と見ゆを。祇園林の床  
机小息も。却れ妻と見ゆを。柳橋をこさて  
ゆふ人のそ中お負りて艶ある富家の處女  
正風作の供也。にとふしく歩ゆまぬ。よく  
又まば能る多程。又頼ひたさる目なり。人敷  
なぬ我ふ風情。猿猴れ月及びてをを。成なる  
僕の袖をひ入。名取とあく聞ふ。はり合さる  
見上あり。たしひ今我。挑燈お釣鐘なりた

一念力。糖糲次中て袂と湯と成。たど狗子  
たしぎん。見上お仕上るバと。處女のゆの  
狗小盈。晋賢像も。揚き此も。花の敷か。と。見  
をりもせぬ。一節お若小飯。あつらうらます。  
只今報備のすまの。長袖と舞。多錢と、  
あさあ。かま。まの。賣買と廣くせんおハ。  
元重り身一あり。そひ袖ハ振お振。まは。免や  
せん角やと。美盤と持か。怪名お打られ。  
葉一疲。ま。ま。ら。む。ら。去。大。名。の。御。金  
浦。ま。石。あ。く。は。の。先。世。由。用。達。一。合。ま。れ

ついでに下  
二





離色二十五歳の男子と先ほど。男もある。在  
小なる。その次の男子小れられまひの憂り  
今ひ。愛を小母を帯を觀。云々。小母  
女の子小。聲と入きて。泣と。傷。出。家。せ。愛を  
又。云々。い。ま。ま。と。い。く。と。愛。が。夢。ぬ。れ。出。家。せ。  
今。小。出。家。な。る。と。路。を。持。て。吐。さ。れ。し。ぐ。これ。を  
實と。愛。な。る。と。い。ひ。汝。は。愛。と。實。な。る。と。あり。し  
い。づ。き。と。是。と。又。何。と。非。と。又。人。扱。ま。と。い。ひ。と  
遙。か。る。西。南。に。渴。お。わ。り。て。寓。言。國。と。い。ふ。國。の  
け。小。陰。陽。の。字。交。り。ど。夜。七。分。空。三。分。れ。所

なり。故小空起て。働く。乃ハ。終。小。三。分。夜。寐。る  
乃ハ。七。分。空。は。七。北。の。人。く。ハ。起。て。働。く。と。愛  
あり。と。れ。ま。い。寐。る。乃。れ。由。ゆ。と。實。あり。と。我  
今。起。て。働。と。實。なり。と。お。い。ひ。寐。る。乃。の。愛。を  
愛。な。る。と。と。て。我。彼。玉。の。人。を。笑。り。彼。玉。の。人。又  
我。と。笑。り。ん。何。と。是。と。い。ひ。非。か。る。人。是。非  
と。も。小。是。な。る。ん。是。非。と。も。小。非。な。る。ん。ゆ。め。も  
現。も。現。な。る。ん。現。も。愛。も。愛。な。る。ん。現。と。是。を  
現。も。愛。も。う。い。く。あり。現。も。愛。も。愛。と。是。バ。由。免  
又。と。む。る。と。い。ふ。に。取。り。ま。ぬ。い。く。は。愛。幻。泡

（Faint vertical text on the left margin of the left page, possibly a chapter or section title.)



かゝる。世人を以ても笑ふれぬ世も亦多くある  
一。令恨小目がらきては。義不義の又もぬ令  
あり。道程れいりぬ人も有。事小公を棄つれては。  
兄弟不和成もあり。親類と公事。其れもあり。  
是小行て世にがら。或も小至く親しき兄弟の  
有るが。死に遊山いりあふ及ぶ。中流に佛系  
も。他人交むれ兄弟は。或時例の兄弟連  
して。此玉一切り途申して。事入十枚拾ひたり  
天の興と悦びて。只に路ハ舟小乗。舟中へ  
むらり時。金幣彼拾ひ。方入十枚の令と出。金

候海一投込る。令兄弟。何れと同たれ。令兄弟  
有るむと。其の兄なれば。父とも母とも。夫れ小  
あひふ。令を拾ひ。時むる。兄なく。彼一人  
拾ひ。其の事。にむひ。なり。令兄弟。れなり  
とも割。かそり。こと。のなき。拾。を。といひ  
と。や。か。か。と。事。ハ。姉。よ。の。じ。や。令。恨。の。事。小。付  
て。ハ。兄弟。中。の。破。れ。も。あり。信。友。と。申。に。が。あ。も  
あり。事。小。ハ。む。ら。し。さ。人。も。事。恨。の。形。小。成。て。ハ  
事。理。も。し。さ。事。理。も。し。さ。日。以。の。化。が。形。も  
事。理。も。し。さ。事。理。も。し。さ。令。小。ハ。の。事。が。事。と。か。る。



待さしとて。故をまひとて。命とあ人もあ。令れ  
出づ。病と成。寂滅うた。わと人もあ。り。運命と費  
とて。尊じ。ハ何のよめ。鐵ど凍。て。命と令。あ  
せん。平。あ。わ。る。と。然。る。ふ。足。る。と。知。る。人。ハ。厚  
味。受。取。と。貪。り。て。得。る。と。さ。を。報。ふ。を。費。し。  
利。欲。換。亡。ふ。事。と。り。先。令。ハ。定。然。り。知。る。存。在。命。と  
五。割。と。猪。む。死。なり。摩。巴。水。雞。火。雞。の。と。さ。令。報  
衣。類。ふ。を。さ。火。小。燒。水。小。漏。る。ふ。同。く。是。中。に  
忍。ん。ふ。あ。ら。じ。や。扱。又。ち。い。ふ。と。云。ふ。バ。わ。ら。ぬ  
る。が。あ。道。と。知。る。人。ハ。乃。小。遺。る。物。と。捨。り。ど。彼。

令と捨ひし。兄弟も。惜しく。未道を知り。る。人。  
天の豊と悦び。遺る。を。さ。ふ。ハ。に。し。人。と。り。あ  
る。を。ぬ。り。わ。る。令。と。私。小。天。の。豊。強。ん。や。人。の。家。  
れ。形。の。下。國。より。より。小。遺。る。もの。ハ。さ。あ。の。もの  
なり。と。て。誰。も。捨。り。ぬ。阡。陌。や。途。中。小。ち。ら。る。  
その。ハ。さ。い。ど。の。あ。る。が。國。の。外。形。より。外。ハ。  
皆。お。上。の。土。花。を。さ。や。上。の。もの。と。私。小。天。  
の。豊。と。捨。ひ。ふ。バ。カ。い。て。あ。ざ。と。蒙。る。人。扱。又  
道。小。遺。る。物。と。捨。り。る。人。と。て。室。れ。山。り  
入。り。と。て。室。り。く。と。り。と。り。と。り。と。り。と。り。と。り。

ついでに...

...

遠し。室れ山ハ何處小の。面く國有れまぬの玉。  
是と室の山と知つて。まねんむらりと室とあひ。  
そ室小圓がくんで。徹乃室とる失ふ。是と室  
の山小入ちまぐ。手とむしをしくまるといふ。是ふハ  
よき田比と持ちまぐ。捨地正小まらぐ。如國より  
所持のよき田比。時ふ陋し。種と知りまぐ。くまごま。  
く耕し。島くど培て。是らまのりと知り。時ハ五穀  
成就。天下をまこれ。田かれ山とり。あ  
海一人出一礼して。田内教示ふ。より舎来り。け  
去り。教生お止。老母とまぐ。め兄弟とも。皆く

要法し。を。ぬ。け。以。彼。等。交。違。回。土。折。り。り。て  
吐。を。聞。ふ。我。と。細。ハ。折。ど。若。者。ハ。村。ど。甜。小  
付。息。と。物。を。か。り。是。聖。人。も。和。ぶ。り。ぬ。約。り。息。ハ  
人。少。も。ま。り。つ。智。皆。折。り。り。て。貴。姓。ま。ま。色。バ。是。ま。ま。  
ま。ま。の。教。生。か。ま。ま。ど。息。ハ。人。の。ま。あ。ふ。け。り。り。  
ま。の。た。ま。色。バ。人。捕。ど。舎。ず。ん。バ。是。ど。ま。ま。れ。教。生  
か。ま。ま。と。お。の。ま。ま。が。得。ま。ま。お。り。け。て。ま。ま。と。約。ふ。舎  
は。く。お。傳。被。が。日。以。の。持。病。あり。何。卒。再。交。せ  
ま。ま。は。應。治。由。考。一。り。り。る。一。公。神。の。曰。む。一。り。り。  
先生。今。今。背。れ。ま。ま。一。り。り。一。り。り。天。の。人。お。能。り

ついでに...  
...





賣人つ出来教し人つる人捕人つる人  
の教し者捕て教す人いさる教し者  
とてする人いさる教し者ありあり  
せしむれ却て教しふたりもあり一人の孫を  
寵愛のあまると甘きものと含せさく病者ふ  
すの教し者あり子と云はれあを愛ふ満こつて  
がれものせせ聞こつるものとやうせ者さる  
おと者せ教るものとせり人教ありとせり  
とて字は筆随ふ字と持せ息子のうらや  
淋あせよ世おとつあふ成るとも遊びるや

無きものふ常用めて肝公れ家業がはるめてハ  
り末がそん来たり大かふかく一ツ家のあつて  
大ののとのトやまを正つてかよと持あせバ  
そあとおとあ書子眷属難義とする是ま大  
から教しかたや極やま先と教とててハ教  
せかりと教と頻先書の毒かけり人くふ自教  
教せらるといねるもそそ無量の教しする人多し  
手代小者といはれふも是も人れ子なりともい  
らふといふは及し止むといふはとてあ  
教ゆといふはとてい可教といふは及

一ツ家のあつて

一ツ

呵、其の故、あゝ、小、是、人の子なりと、い、い、可、  
座、さ、り、も、あ、あ、可、い、と、此、じ、座、さ、り、も、さ、り、と、  
止、ま、り、と、少、く、の、り、の、世、を、並、た、と、料、道、し、て、せ、ら、ぬ  
能、く、又、ぬ、あ、り、し、て、漸、と、り、の、是、ま、り、と、世、の、教、生  
たり、首、尾、も、あ、君、遠、入、ら、り、も、せ、よ、と、何、も、身、を  
持、り、の、能、ぬ、ま、り、と、浅、合、の、多、少、あ、り、と、い、い、と、ず  
兼、あ、り、し、の、あ、な、は、り、も、去、行、でも、十、九、之、店、の  
傷、小、小、欲、布、れ、る、と、い、い、と、合、ち、い、い、と、い、い、と、  
け、一、に、外、の、も、合、是、と、又、付、引、押、へ、て、突、倒、し、  
盗、せ、ぬ、と、い、い、と、その、も、合、ち、い、い、と、い、い、と、盗、せ、ば、も、合、ち、

止、り、よ、盗、と、い、い、と、合、ち、い、い、と、い、い、と、合、中、り、れ、教、治、  
たり、と、欲、布、と、い、い、と、被、店、持、り、て、我、も、た、り、  
ぬ、ま、り、と、世、海、と、い、い、と、その、も、合、ち、い、い、と、い、い、と、招、が、な、い、  
か、れ、も、合、ち、い、い、と、い、い、と、煩、悩、子、道、と、い、い、と、所、不、淺、  
の、あ、り、と、い、い、と、盗、む、と、い、い、と、た、い、い、と、い、い、と、出、  
ぬ、ま、り、と、い、い、と、い、い、と、罪、と、い、い、と、す、れ、と、い、い、と、是、を、い、い、と、教、生、  
か、り、人、の、行、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、  
並、し、や、ま、り、と、い、い、と、是、又、い、い、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、  
の、い、い、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、  
あ、り、と、い、い、と、盗、人、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、  
あ、り、と、い、い、と、盗、人、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、

あ、り、と、い、い、と、盗、人、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、い、い、と、

大いなる教生ぞ。先邪もいふ通なり。奪も教生ぬ  
祖の人なり。是れぞ教生たり。これわらざるのなり  
内用なく。○禁教生婦人経候の中不交合し。  
と。懐妊するときは。その子あり。と。癩病小なり  
といふなり。古書もよく。人これく。はなれぬ  
りなきども。可。田舎れ男女不。未。ぞ。さ。り。合  
わらんし。安。不。記。と。婦人。れ。経。水。と。懐。ま。む。し。て  
交。り。その。血。止。り。懐。胎。せ。ば。その。子。あり。と。癩。病。と  
な。らん。と。我。子。癩。病。小。成。な。ば。親。先。祖。の。節  
同。と。け。り。一。類。の。類。と。よ。む。と。是。大。い。なる。教。生

あり。ぬ。ま。り。癩。病。小。なる。と。その。子。れ。一。生。と。悲。ハ  
如。何。わ。らん。その。子。れ。一。生。而。已。な。り。と。その。子。孫。り  
と。血。と。傳。へ。と。悲。と。傳。へ。る。と。大。い。なる。教。生  
たり。と。や。子。孫。小。愛。同。と。知。り。と。教。生。合  
誰。か。り。と。と。懐。ま。む。と。懐。む。と。思。ひ。て。思。ひ。て。  
又。一。人。出。く。回。某。の。存。知。合。ふ。而。も。同。一。高。賣。も  
同。一。高。賣。也。其。い。も。同。一。高。賣。也。其。い。も。同。一。高。賣。也。  
なき。小。貧。福。回。り。か。り。さ。り。あ。り。西。家。小。貧。く。  
東。家。小。富。也。予。其。東。家。小。け。て。同。と。え。と。何。某。と。  
町。も。同。一。町。也。其。業。も。同。一。家。業。也。其。い。も。ま。り。

つらぬく







下  
上

下



下  
上

下

の方と聲こゑふしめふ。お母おと笑わらと合あて曰いひし  
さうかすふ。處い女にをとりけり。やむじん二人ふたりあり。  
一人ひとりハ負い男かんをさすも。家い貧ましく。やむ一人ひとりハ不  
男いをさすも。家い富まし。そ親おや始ひ小こ同どうて曰いひ。なんぢの  
公こう小せう何なにとべし。何なにのかえり。登のぼりて始ひ始ひをさす  
赤あか面めんのこ。親おや悟さとく曰いひ。汝なんぢ富ふかと好すなり。ハ右みぎの肩かた  
ゆげ。負い男かんのわささすも。たの肩かたゆげ。始ひ始ひ  
た右みぎの肩かたとゆげ。り。親おや同どうて曰いひ。いふ成なりをさす始ひの  
曰いひ。室むろハ富ふかかえり。夜よハ負い男かんれかえり。かんと  
是こゝも色いろと歎なげとの蹄ひづり小せう掛かり。一ひとと二ふたとと

をけり。れしと吐つく。孫まごも富ふハ好すなり。富ふ  
よもまじく貴たかしめわり。か富ふもよもふり。  
貧みも貧みしく。不ふより。右みぎ借かり。清せい貧みハ不ふより。不ふ  
得え富ふハ不ふより。不ふより。まじく。汝なんぢも富ふか  
し。子こ不ふ孝こうなり。親おや瘦やせ。家い貧ましく。親おやを  
子こ孝こうなり。不ふ孝こうなり。親おやを。親おやを。親おやを。親おやを。  
富ふか。何なにと。何なにと。何なにと。何なにと。何なにと。何なにと。  
知しらば。評ひやう判はんハ。評ひやう判はんハ。評ひやう判はんハ。評ひやう判はんハ。評ひやう判はんハ。評ひやう判はんハ。  
論ろんして。見みば。西せい家かの貧みも。不ふ孝こうのふり。不ふ孝こうのふり。不ふ孝こうのふり。不ふ孝こうのふり。不ふ孝こうのふり。不ふ孝こうのふり。  
あ。東とう家かの富ふも。不ふ孝こうのふり。不ふ孝こうのふり。不ふ孝こうのふり。不ふ孝こうのふり。不ふ孝こうのふり。不ふ孝こうのふり。

つらねのふり

是皆天下を人のふくすに於てあはれぬ事ありふ  
皆くとき小遇バ。小遇さる人と見下し。このれが  
美事なりと矜れ。是の小道を知さる人あり  
いまい道を知さる人の貧富盛衰も。我ちその  
たを和としむ。飽まで人殺すな。何ぞや  
當るとき。歎ふも是患と括さ。天下も怨も  
人をもむむ。自仍の摩ハ。活へるごとく  
又一人如く曰。某は以浪義（ト）一とき。水と  
擔て高き人あり。同侍なりとれ。是とて嗚呼。  
解名義の津あり。波世の易也。比たらしむや。ハ

如何と問かれ。水を残ふ成といふ。今一人の  
同侍なりとれ。波世れ。いかに去比たりといふ。  
とハ如何と問バ。水も残とせバといふ。予け  
務員と附も侍れ。何事のか。又國と揚人  
也。考ふれば。公孫の曰。是もまた。止むゆいど  
いかに。語して見バ。亦ハ仕やまひ。水と賣ても  
残ふたり。父母の命とせり。あはれ。人殺。又  
波世ハ志がしむ。水も残とせバといふ。子衆の  
命と引立。おはよか。去たぐる。皆ら。其の  
分利。其ハ。難と易の間。小遊人。扱こさ小

たつたつた

類せらるるれを。舞もどしひかひの中人にば  
 さるる人指ひしふま支障の挨拶ふ舞ハさき  
 お楽なうん。我おはまどけやう小寒ひ小付。暑ひに  
 付。人と老人の苦とほふ。唯苦と老人のなげ  
 指とつふふこゆり入。もろや改事小寒ひ小付も  
 ひけバ。丁稚どもおもけおハ。むけりと寝てま  
 くれふは色すバ。おれすひと。先別う。女まの舞  
 用。むも舞代。仕立貸さう。南く換なま。是  
 おもす。痛うも介色。はるもま。去ののどく  
 ぬき。強く。も。も。小仲。冷でも入。こバ。

せし。さ。時。小。中。の。事。欠。を。上。藤。屋。あ。を  
 指。介。ど。も。れ。バ。り。や。と。も。は。醫。者。小。か。け。の。ハ。あ。は。は。  
 法。ひ。二。三。日。れ。業。代。で。も。む。け。り。れ。又。是。や。三。是。ハ。  
 何。の。苦。と。あ。れ。能。く。仕。立。を。時。の。換。を。お。り。人。バ。  
 今。れ。換。の。却。り。利。か。を。と。め。り。利。の。附。舞。代。知  
 での。高。人。れ。お。ハ。の。ま。ぬ。と。ま。ひ。さ。も。日。ま。も。去。方。  
 指。ひ。し。ふ。愛。あ。を。ま。ま。の。ち。の。ゆ。法。を。ま。婦。の  
 挨拶。ふ。二。三。日。け。さ。ハ。俄。ふ。お。ば。に。ど。う。吹。き  
 この。用。を。小。遊。も。れ。す。と。我。お。ハ。何。程。を。あ。て。も。  
 ぬ。も。あ。ひ。か。ど。ま。の。番。し。く。も。も。人。床。屋。の。

おれいふ

十三

巨魁のとも。わづらふと書せども可憂とあり  
丁推小者。裾の短しものど高く。後ル空の用  
捨たぐ。書ふと書ふもはるひ歩ひ。よりあまご  
んふとあふりませぬ。夏と藤むへの用ひり。  
面くをのちとさうもさども。あは何卒あそ  
か。をのちれ仕やうのあまひし。先別く舟まづ  
ふま。帯れ始末の何のなる。家内の者ふきひ目や。  
飢目とるせまひしあり。彼あそ人れ子なりとら  
口癖ふとせども。口むらとせして公の御ぬ。さう  
しきさるなりとさひさ。諸君子は両家れ換

孟如何一人。孫如く曰。君之視臣如手足  
則臣視君如腹心。君之視臣如犬馬。則臣  
視君如國人。孟子曰。ひやめて一家の主人  
家内れ者と子れど。おひひ。子のどくす。時ハ  
家内の者皆。主人と親のどくす。ひ。親の如く  
小事れや。主人肉徒の者と。雇人のど  
くす。雇人のどくす。雇人のどくす。肉徒の者  
の者れ。水臭さふ。いれずして。主人の所。房臭  
ひ。か。ん。う。ま。い。一人。か。く。曰。其。事。と。孟。子。あ。て。

のわりがれり下

らしむことわきまを。主人何ぞ必しも曰利  
 亦有仁義而已た。人之國の事、人亦仁  
 せし、侮せば、由家、申へず、不及、つご、ま、く、れ、民、百、姓  
 小至、れ、ま、で、不、仁、を、れ、り、を、知、不、義、を、り、を、を  
 為、る、云、事、所、由、も、り、く、ま、小、治、を、大、小、の、異  
 け、き、ども、所、由、と、も、を、通、に、一、家、れ、り、人、仁、に、  
 由、る、也、皆、是、と、も、を、い、は、よ、小、不、仁、を、り、を、を  
 知、合、不、義、を、り、り、ハ、世、ぬ、を、お、し、つ、ま、く、家、治、を、  
 と、り、り、人、利、欲、深、く、仁、義、の、を、わ、く、と、も、ハ、家、内、  
 皆、これ、と、も、を、い、は、不、仁、を、り、り、を、も、知、と、を、い、は、  
 不、義、を、り、り、賣、買、を、り、り、利、を、り、り、使、を、り、り、と

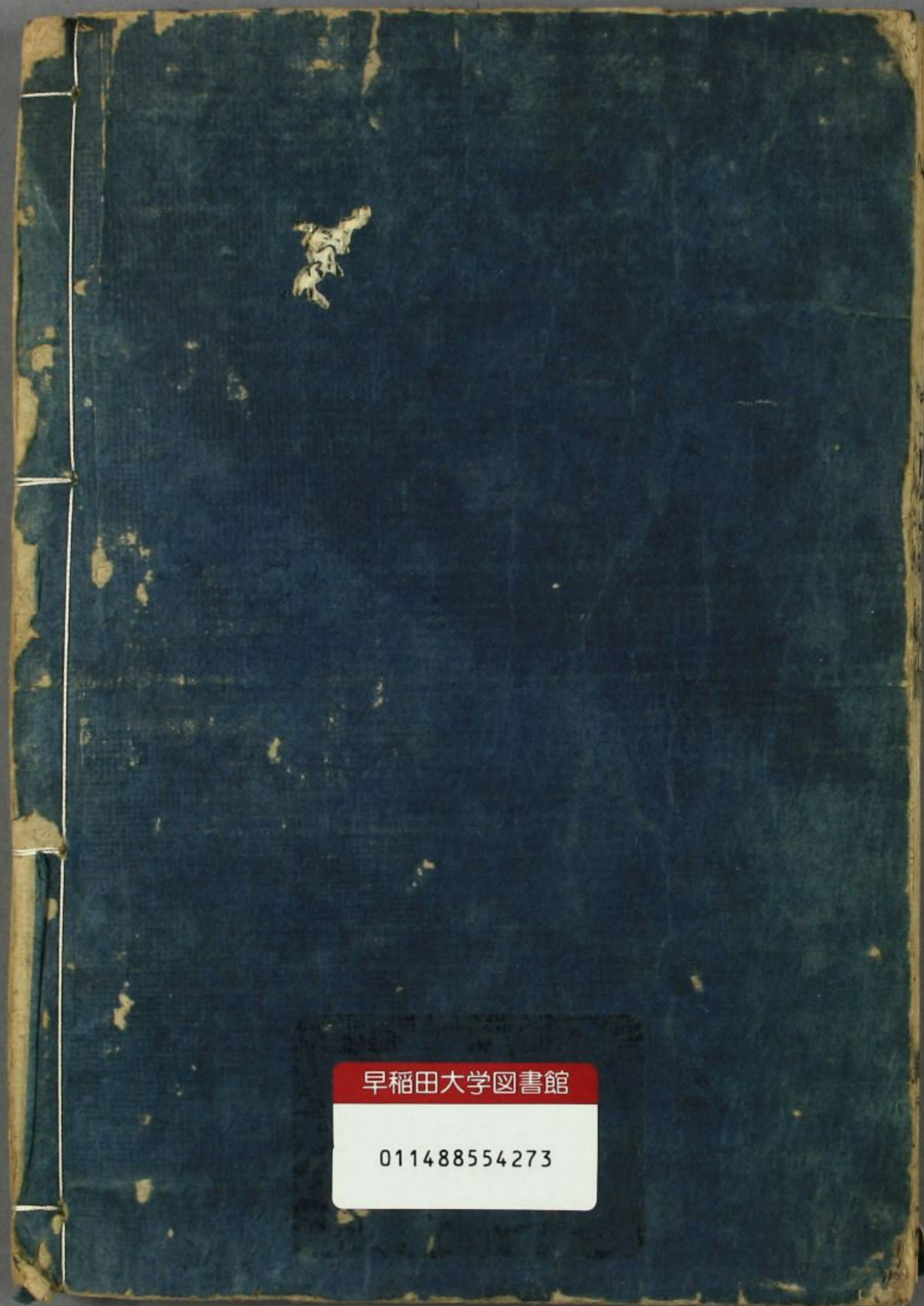
れ、り、の、義、不、義、と、論、せ、ば、唯、利、と、り、り、を、を  
 手、病、と、も、り、り、り、り、と、商、を、り、り、利、の、を、り、り、  
 治、す、る、所、ハ、小、利、大、換、り、り、人、ハ、人、で、我、り、り、利、の、  
 二、夫、と、り、り、を、り、り、り、り、り、り、  
 不、義、を、り、り、賣、買、を、り、り、利、を、り、り、而、す、る、を、り、り、  
 下、情、上、下、交、利、と、り、り、り、り、り、り、  
 諸、君、れ、師、を、り、り、り、り、  
 本、ハ、新、も、曲、れ、り、り、り、り、  
 國、の、本、ハ、國、れ、所、を、り、り、り、り、  
 不、義、を、り、り、賣、買、を、り、り、利、を、り、り、使、を、り、り、と  
 れ、り、の、義、不、義、と、論、せ、ば、唯、利、と、り、り、を、を  
 手、病、と、も、り、り、り、り、と、商、を、り、り、利、の、を、り、り、  
 治、す、る、所、ハ、小、利、大、換、り、り、人、ハ、人、で、我、り、り、利、の、  
 二、夫、と、り、り、を、り、り、り、り、り、り、  
 不、義、を、り、り、賣、買、を、り、り、利、を、り、り、而、す、る、を、り、り、  
 下、情、上、下、交、利、と、り、り、り、り、り、り、  
 諸、君、れ、師、を、り、り、り、り、  
 本、ハ、新、も、曲、れ、り、り、り、り、  
 國、の、本、ハ、國、れ、所、を、り、り、り、り、

方れ下ハ。方れ下人云け。さ人云ハ。天性仁  
 義の明君を求むも。人云。い。其徳の長動也ハ。  
 其徳君と沮。け人云。不惑ハ。其徳ハ。終小暗君  
 の名と。さ。さ。方と。亦も。持。持。運臣と。さ。さ。け  
 て。唯。放。公。と。求。り。人。大。也。難。と。放。り。さ。け  
 とも。ハ。求。り。と。知。り。と。求。り。さ。け。人。云。と  
 とも。放。り。と。求。り。と。知。り。と。哀。哉。と。又。曰。  
 學問之道。其放公而已。

あはれ

弘所書林

- 京都二条通敷在町末入町  
山本長之書
- 同 二条通柳馬場西入町  
八文字屋在之書
- 同 馬九通松原下町  
炭屋在之書
- 同 堀川通松原上町  
炭屋在之書
- 同 敷在町通柿小路上町  
正江屋在之書



早稲田大学図書館

011488554273